

カリキュラム区分		5カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）		時間	単位
		学年	学期						
専門共通	M201	1年	後期	看護学	選択	看護管理学特論		30	2
						Advanced Study on Nursing Management			
担当教員									
松井 美由紀		久保田 聡美＊							
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
☐	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
☐	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
☐	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
☐	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
☐	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
☐	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
☐	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
☐	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
☐	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
☐	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
☐	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
☐	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
変化の激しい我が国の保健医療福祉制度の影響を受けるヘルスケアシステムにおいて、看護管理に関わる今日的課題に焦点をあて、質の高いヘルスケアサービスを効果的に顧客に提供していく為の理論と実践方略を学ぶことができる。担当者による講義やプレゼンテーションをもとにディスカッションしながら学びを深めることができる。									
到達目標（授業目標）									
1. 我が国の保健医療福祉システムの変遷と看護管理に関連する諸問題を説明できる。 2. 看護組織をヘルスケアシステム全体の視点から俯瞰し、社会が看護に求めるヘルスケアサービスを自組織に引き寄せて創造する視点をもつことができる（ミクロとマクロの視点をつなげる）。 3. 質の高いヘルスケアサービスを目指して、顧客視点からアウトカムを明確にし、PDSAサイクルを回し、質保証していくための実践方略を説明することができる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	看護管理学概論：看護管理とは、システム思考の看護管理、看護管理者にとつての顧客とはについて講義をする。（久保田聡美）								
2回	組織論：組織とは、組織構造と組織文化、経営戦略について講義をする。（久保田聡美）								
3回	ヘルスケアシステム：医療制度、介護・福祉制度の基本的枠組み、看護をとりまく制度・政策の変遷と課題について講義する。（久保田聡美）								

4回	看護管理における倫理：組織の意思決定、管理者の倫理的意思決定について講義する。（久保田聡美）									
5回	リーダーシップ理論：リーダーシップとは、リーダーシップ理論の変遷と具体的内容、リーダーシップスタイル、フォローシップについて講義する。（松井美由紀）									
6回	動機づけ理論：動機づけ内容理論、動機づけ過程理論について講義をして、モチベーションについて討議する。（松井美由紀）									
7回	人材育成：人的資源活用論、キャリアデヴェロップメント、キャリアデザインについて担当者がプレゼンテーションをして討議する。（松井美由紀）									
8回	キャリアと役割移行：キャリアについて、役割と役割移行について担当者がプレゼンテーションをして、討議する。（松井美由紀）									
9回	危機管理とリスクコミュニケーション（１）：医療現場における危機管理、医療安全について担当者がプレゼンテーションをして、討議する。（松井美由紀）									
10回	危機管理とリスクコミュニケーション（２）：災害対策、組織とガバナンスについて担当者がプレゼンテーションをして、討議する。（松井美由紀）									
11回	職場環境とマネジメント（１）：ストレスマネジメントとメンタルヘルス対策について担当者がプレゼンテーションをして、討議する。（松井美由紀）									
12回	職場環境とマネジメント（２）：ワークエンゲージメント、バーンアウト、組織レジリエンス、心理的安全性について担当者がプレゼンテーションをして、討議する。（松井美由紀）									
13回	可視化と質評価：看護サービス、医療・ケアの質保証について講義する。（久保田聡美）									
14回	まとめ（１）：各自の領域において、より質の高いヘルスケアサービスを効果的に顧客に提供していくための方略について発表する。（久保田聡美）									
15回	まとめ（２）：各自の領域において、より質の高いヘルスケアサービスを効果的に顧客に提供していくための方略について発表する。（久保田聡美）									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
ディスカッション（50％）、プレゼンテーション（50％）により統合的に評価する。トータル60点以上を合格とする。										
教科書										
参考図書等		①久保田聡美：実践ストレスマネジメント～「辞めたい」ナースと「疲れた」師長のために、2010、医学書院 ②久保田聡美、渡邊千登世：「師長・主任・リーダーのマネジメント力アップ術」、2011、照林社 ③小池智子、松浦正子、中西睦子：看護サービス管理、医学書院 その他参考図書、文献は適宜授業内で示す								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
プレゼンテーションおよびディスカッションするための事前準備を行う。										
関連科目										
前科目	M101	保健医療システム論	M102	医療倫理学特論						
後科目										
実務家教員										
看護師（医療機関）		松井 美由紀		久保田 聡美＊						

保健師（行政機関）	久保田 聡美＊					
備考	一部、集中開講となる。授業内容や順序は変更の可能性がある。					